

【 Yellow Cup 2019 】

2019年1月4日～1月6日 開催地:スイス

試合結果報告 1 月 6 日 (日)

JPN	VS	POR
11	前半	17
14	後半	10
25	合計	27

個人得点

名前	得点	合計
1 佐々木 亮輔		0
7 宮崎 大輔	2	2
11 東長濱 秀希	2	2
13 笠原 謙哉		0
15 部井久 アダム 勇樹	4	4
16 甲斐 昭人		0
18 成田 幸平		0
19 徳田 新之介	3	3
20 渡部 仁	2	2
21 土井レミイ 杏利	1	1
24 信太 弘樹	2	2
25 元木 博紀	2	2
27 玉川 裕康	1	1
29 岡元 竜生		0
31 吉野 樹	3	3
44 門山 哲也	3	3
		25

戦評

イエローカップ最終戦、1敗1分の日本は、2敗のポルトガルとの試合であった。

今回の欧州遠征の総決算として臨みながらも、これまで起用時間の少ない選手も積極的に登用し、チーム力の底上げを図る意図も持った試合となった。

試合開始からGK甲斐のファインセーブが続き、ポルトガルがリズムに乗れないところを吉野、徳田らが得点を重ねて、中盤までに9対6と3点のリードを奪う。しかし、ここからシュートミスなどで10分間得点が止まっている間に、87番Salinaのポストプレーなどで逆転され、終盤まで押される展開になり、11対17と6点のリードを許して前半が終了した。

しかし、後半での巻き返しを図る日本は、信太のゲームメイクから2元木らの得点でリズムをつかみ、開始10分までに2点差まで追いつけた。ところがここで退場を出してしまった日本は、4番Portelaに7mTを的確に決められるなど、追いつけない状態が続く。終盤日本はディフェンスが機能し失点を抑え、門山の個人技も光ったのだが、チャンスにノーマークシュートや7mTを外してしまい、25対27の2点差で敗退した。

4位という結果に終わったが、全ての選手に貴重な経験を積ませることができると共に、欧州強豪国相手に様々な戦術や選手起用にも対応できるチーム状態を作ることができたことが収穫であった。

報告記入者 : 舍利弗 学